

総決起集会！ 会場満杯の1300人が結集！

「鶴田まこみと変える いのち輝く いばらきへ」



7月30日（日）午後2時から、つくば市国際会議場大ホールで「鶴田まこみと変える いのち輝く いばらきへ」と、県政を変える大集会が開催されました。大ホールは1階900席、2階358席で合わせて1258名を要する巨大ホールですが、立ち見を含めて1300人以上が参加するなど、大盛況となりました。

■ 矢澤啓史さんの華麗な太鼓でオープニング！

満席になった会場のステージで矢澤啓史さんによる力強くしかも軽快な太鼓でオープニング。つづいて、知事予定候補の鶴田まこみさんが壇上に登場。参加者に向かって大きく手を振って挨拶し、席に着きました。

共同代表8人が一人ひとり紹介されて舞台上に上り、席を立てて迎えたまこみさんと握手してからステージに並びました。筆頭代表である松下明行氏が挨拶を述べました。

■ 政治団体・政党がそろって登壇し、まこみ知事実現の決意表明！

鶴田まこみさんを推薦している政治団体・政党は「一新会」、「新社会党」、「つくば・市民ネットワーク」、「とりで生活者ネットワーク」、「日本共産党」、「緑の党グリーンズジャパン」の6団体です。各団体・政党の代表が紹介されて鶴田まこみさんと握手をした後ステージに並び、それぞれが決意表明を行いました。

選挙団体の「いのち輝くいばらきの会」では「民進党」や「社民党」にも支援を呼びかけていますが、現在のところ民進党は「自主投票」を表明しており、社民党は返事待ちという状況です。しかし選挙戦をリードすることで今後も呼びかけを続け、支援を受ける可能性は捨ててはいません。

■ 知事選挙は、あと1ヶ月！ まわりの人たちに積極的に訴えよう！



知事選挙は8月10日告示、27日投開票です。期日前投票は10日からできます。私たちの声で、東海第二原発廃炉を実現、全国8位の財政力を県民のために使う政治を実現するため、鶴田まこみ候補の支持をさらに広げる取り組みが重要になっていきます。

■ 東海第二原発を止める権限知事にある。その知事を選ぶのは我々県民だ！

ゲストスピーチは三上元氏、渡海雄一弁護士、村上達也氏の3名。三上氏は2004年から3期12年、静岡県湖西市の市長を務めました。2011年5月に「浜岡原発の廃炉を求める訴訟原告団」に参加し、現在「脱原発を目ざす首長会議」の設立世話人を行っています。海渡氏は脱原発弁護団全国連絡会共同代表です。まこみさんのパートナーである坂本弁護士は東海第二原発差し止め訴訟で中心的な役割を果たしています。村上氏は茨城県東海村の前村長であり「脱原発を目ざす首長会議」の役員として、全国で活躍中です。それぞれが「日本原子力発電東海第2原発（東海村）の再稼働を止めなくてはならない。それを実現できるのは我々県民だ。そのためには鶴田さんを当選させなければならない」と決意表明を行い、選挙での支持を呼びかけました。

■ 鶴田まこみ知事予定候補のスピーチが感動を呼んだ！

鶴田まこみ予定候補は、5つの柱と64項目の公約を発表しています。

第一に、東海第二原発について「約40年前に茨城から始まり日本中に広まった原発を茨城で止め、日本を原発ゼロにしよう」と訴えました。

第二に、格差と貧困の根絶。特に育児・介護・医療・福祉・教育など日々の暮らしを支える県政の実現。「県税は県民のために使う政治」実現するため、大型開発を止め、財政の使用を県民の暮らし第一にがらりと変えること訴えました。

第三に、茨城の自然の保全と同時に農業、林業、内水面産業の発展を進めること。イタリアと茨城の文化の交流を進めると訴えました。

最後に、「戦争のない平和な社会を皆さんと茨城からつくろう」、「私たちが目指すのは希望あふれる茨城県。あるゆるいのちが息づくそういった県です」と訴え、大きな拍手に包まれました。

夏の平和パネル展始まる！

7月22日～8月6日
小美玉市四季文化間（みの～れ）にて
「沖縄地上戦」「東京大空襲（絵画）」
【石岡平和の会】



2017年夏の「戦争と平和展」が、各地域の平和の会等によって開催される予定ですが、石岡平和の会では、7月22日（土）から始めました。8月6日（日）までの約2週間にわたり、「みの～れ」のロビーにて展示しています。



歓迎！新入会員のみなさんです。よろしくお願ひします。

- ** ** さん（常総市）
- ** ** さん（利根町）
- ** ** さん（水戸市）
- ** ** さん（つくば市）
- ** *** さん（つくば市）

*ともに平和の声をおおきく広めていきましょう！

平和新聞

2017年8月5日（土）
2145号（毎月5,15,25日発行）

1950年12月16日第三種郵便物許可 発行 日本平和委員会
1部140円 月額400円 〒105-0014 東京都港区芝1-4-9 平和会館
（郵送料月額120円） 電話03(3451)6377 FAX03(3451)6277

平和かわら版 平和新聞茨城版 No. 784

2017.8/5
発行：茨城県平和委員会 〒310-0912 水戸市見川5-127-281
Tel/Fax 029-251-2806 E-mail ibahei@amber.plala.or.jp

美和・緒川平和の会で視察研修会を百里で実施



百里基地での日米共同訓練を視察して

美和・緒川平和の会 堀江 かくじ

7月19日、美和・緒川平和の会では、百里基地で行われている日米共同訓練の一端を視察してきました。百里平和委員会の方には大変お世話になりました。

米軍機が滑走路を全速力で滑走し、上空に向かって飛び立つ機を目前で見ることができました。耳をつんざく轟音とともに次々と発進する米軍機を見ているうち、安倍総理の狙う戦争する国づくりがじわじわと進んでいると感じました。

私が一番心配しているのは、戦争法、共謀罪法、などが強行されてきている中で、米軍と自衛隊による日米軍事訓練が、陸・海・空でこれまでにない規模で実戦さながらの訓練を行ったことです。そのような中で、南スーダンでの陸上自衛隊の「日報」問題で明らかのように、自衛隊の統制をめぐるも政府内部で混乱している有様には怒り心頭です。私たちは、もっともっとこれらの実態を多くの市民の皆さんに知らせていくとともに、アメリカ言いなりの政治をストップさせ、安保破棄の活動を一層強めていかねばと決意を新たにしています。

安倍内閣支持率 大幅に急落！【7月調査】

不支持率50%を超える！ 支持率は20%台に

自民党の歴史的な大敗となった東京都議選。自民党は、57名から23名と半数以下になる大敗でした。その背景に国政の私物化や戦争法や共謀罪などの憲法破壊を続ける安倍政権の横暴に、国民の怒りが爆発したものです。

朝日新聞が7月8・9日に行った全国世論調査では、内閣支持率=33% 不支持=47%となりました。7月1・2日に行った前回の調査での支持率は38%でしたから、1週間で5%も落ちたこととなります。

一方、安倍首相が「(憲法改正に関する) 私の考えは読売新

百里基地「日米共同訓練」を見てきました

美和・緒川平和の会 呷野 洋子

共同訓練とはどんなものか？ 7月19日、美和・緒川平和の会が開いた現地研修会に参加しました。

現地百里基地「平和公園」までは駐車場から歩くと聞いていたので、足の悪い私は不安な一面もありましたが、地元平和委員会の方のはからいで公園の中まで車の乗り入れができたほか、涼しい木陰で訓練について説明いただくことができました。

突然のごう音、午前中の訓練を終えた戦闘機が次々と滑走路に進入し始めて見る様に体の硬直を覚えました。午後の訓練は二時から。茨城空港にて昼食をとり、再び平和公園へ。

戦闘機のエンジンの音が急に高くなり、いよいよ離陸の準備とのこと。遠く点滅する機体がうっすらと見えた。順番を待って何機もスタンバイしている。最初の一機がすべり出したなと思ったその瞬間、耳をつんざくような、体ごと吹き飛ばされそうな爆音に思わず頭を無意識に抑えていた。と同時に機体は空高く飛び立っていた。基地周辺に住む人たちはどんな思いだろうか？日米合わせて十数機はあっただろう。一機をとばすのにどれだけの軍事費が投じられていることか。実際に自分の眼で見、体感して訓練とはいえ、本番さながらの演習に恐ろしさだけが心配が心に残った。

このほか、海軍航空隊跡地なども見せていただきました。

地元平和委員会の会の方には大変お世話になり、ありがとうございました。

聞をよく読んで下さい」とまで持ち上げた読売新聞の調査でも、前回6月17・18日の比較で、支持率は49%⇒36%（13%の大幅下落）、不支持率は41%⇒52%（11%上昇）でした。読売新聞の5月調査の支持率は61%でしたから、2ヶ月で半分に下落したことになります。NHKの調査（7月7～9日）では、支持する35%（前回48%）、支持しない48%（前回36%）、日本テレビ（NNN）の調査では、支持する31.9%（前回39.8%）、支持しない49.2%（前回41.8%）

さらに毎日新聞の7月22日・23日の調査では、不支持率が26%と、前回かあ10%も低くなるなど、主要メディアの全国世論調査で支持率が20%台に落ち込んでいます。

緊急臨時理事会（7月18日：既報）

での理事の発言から



■11日に幹事会を開催して話し合いました。時代の状況として核兵器禁止条約があります。昨年の幹事会での話では、平和委員会が市民連合に参加するなどの動きもあって、「平和委員会はこれか政治運動にも乗り出すんだ、乗り出しやすい状況になって来たんだ」という話もありました。平和活動と市民活動というか政治活動もやっていく。そこに野党共闘などの話も入ってきたと思っています。

状況が大きく私たちの変わってきているのだから、平和委員会も政治の課題にも大きく足を踏み出して、私たちの目指すものを獲得していく状況に来ているんだと思います。

今の状況がどのように変わってきたのかということ率直に話し合い、お互いが理解を深めるということが勝負なのではないかと思う。政治や選挙へ認識や対応は5年前や3年前の認識とは大きく変わっていると思う。

■我々が平和運動としてやっていることと、最終的には自民党を倒して原発に頼らない知事を作れるのか、憲法九条を守れるのかなど、出口をキチンと押さえて活動している団体なのかをはっきりさせていくことが必要だと思う。これらのことを話し合うのは重要なことだと思う。

「平和委員会の会員ではあるが選挙活動はいやだ」という人がいてもいいと思う。様々な事情から個人でとして鶴田さんを応援することができない会員がいても当然だ。しかし「平和委員会としては鶴田さんを応援するんだよ」と立場を取るかどうか。東海第二原発の稼働をさせないためには、誰が知事になるかは大きな問題だ。政策をよく学んで「だから鶴田さんを応援するんだ」と考えている。

■潮来市は避難者の受け入れ先になっている。実際問題として、現在旅館が衰退していて、もう20年前ぐらいの話だが、組合の学習会で旅館に宿泊した。シャワーを浴びようとしたらコーヒ色の水が出てきた。とても使いものにならない。普段は全然使っていないから、鉄管が錆びていた。ということは「額面上の受け入れ先はあるけれど、実際は受け入れる状況ではない」と言うことだ。バスをチャーターするといっても、昼間なら運転手は会社の仕事で外出している。バスなど出せるわけがない。東海第二原発は一旦動いてしまえば20年間稼働することになる。細かい部分もあるが、東海第二原発は廃炉でいいと思う。